

# 寅さん歩 その19

## バーチャルウォークで

### 聖火を新国立競技場へ-16



平野 武宏

FWAホームページの「YR・四季の道」バーチャルウォーク コーナーに八柳修之さんのバーチャルウォーク（国内版） 歩いて健康バーチャルウォークのすすめ「沖縄から新国立競技場まで東京オリンピック2020の聖火コース（仮想）1685kmを2020年7月までに歩いてみませんか」が掲載されました。

かつては平野寅次郎の名で映画の寅さんのように全国のウォーキング大会を歩き、世界最大のウォーキング大会 オランダ国際フォーデーズマーチ（4日間で120km）を完歩しましたが、2018年1月に坐骨神経痛を発症し、足の痛みで自由に歩けなくなりました。治療やリハビリを重ね、現在は8~10km程度の散歩まで可能に回復しましたが、歩けない時は例会にも参加出来ず、悶々としていました。こんな時の光明がこのバーチャルウォークの提案でした。バーチャルウォークはリハビリの散歩の距離を累計してバーチャルコースのゴールに向かう、すごろくのようなもので、「ゴールするまでは健康でいなければ」との目標を持つ前向きな気持ちにさせる取り組みです。

先の長いゴールまで歩けるかの不安もありますが、その時は**駕籠に乗って**（ウォーキングの隠語で交通機関を利用）聖火を新国立競技場へ届けようと気楽に考えました。歩く地域について学びながら思いを巡らすのも楽しいですよ。寅次郎は歩きながら、昔、ウォーキングで訪れて通過した県の思い出や、映画「男はつらいよ」で寅さんが通過した県でマドンナと、どんな恋をしていたのかをお話したいと思います。

2018年（平成30年）10月1日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火は沖縄県那覇市から鹿児島県、宮崎県、大分県、福岡県、山口県、広島県、岡山県、兵庫県、大阪府、京都府、滋賀県、三重県、愛知県を経て静岡県に入っています。2019年（令和元年）10月27日現在、スタートから1471km地点（吉原宿）を通過しました。今後は三島宿から箱根越えです。

八柳さんのバーチャルコースは箱根宿まで一気にいきますが、映画の寅さんが静岡県に多く登場していますので、区切って紹介します。

## [静岡県吉原宿～静岡県三島宿]

1471 Km～1547Km



写真上左は広重の東海道五十三次の浮世絵 吉原宿、写真上右は三島宿です。

寅次郎、2002年（平成14年）2月「第4回伊豆早春フラワーウォーキング・第4回河津桜ツーデーマーチ」で静岡県河津を訪れています。

第一日目桜コース河津桜コース（30km）は快晴の中、起伏のある山越えの後は大島や伊豆七島が見渡せる紺碧の海。今井浜からは桜祭りで賑わう河津川堤の満開の桜の下を歩きました。

湯ヶ島温泉踊り子の宿に泊まり、映画「伊豆の踊子」のロケで三浦友和や山口百恵ちゃんも入った(?)という岩風呂でウォークの汗を流しました。

第二日目踊り子コース（30km）はバスで天城の山へ上がり、つづら折りの旧道を旧天城トンネルから河津七滝、湯ヶ島温泉に下る、小説「伊豆の踊子」で学生と踊り子がたどった溪流沿いの天城路を歩きました。



2005年（平成17年）の「第7回河津桜ツーデーマーチ大会」はFWA特別例会として団体参加しています。

2006年（平成18年）の「第8回下田水仙ツーデーマーチ」にFWA特別例会として団体参加しています。

又、「ひろば」2011年（平成23年）1月 寅次郎の旅（下田篇）も参照ください。

映画の寅さんは1971年（昭和46年）4月公開の第7作「男はつらいよ 奮闘編」で沼津を訪問しています。寅さんから1年前にもらった「結婚する」の手紙を持って30年ぶりに生みの母親の菊（みやこ蝶々）が柴又にやって来ます。

柴又に戻った寅さん、妹さくらと一緒に菊の宿泊する帝国ホテルを訪ねますが、生みの母と大げんかしてまた旅へ。旅先の沼津で津軽から出稼ぎに来ていた知的障害の美少女 花子（榎原るみ）と出会います。世話を焼きながら「なにかあれば柴又のとらやへ」とメモを渡して別れます。花子が柴又を訪れ「寅ちゃんの嫁になる」と言われて、その気になる寅さんです。でも不在中に身元引取りの先生と花子は津軽へ帰ってしまいます。失意のまま旅に出た寅さんから思いつめた手紙に妹のさくらは心配して津軽へ向かいます。でもバスの中で元気な寅さんと再会して、ほっとします。



柴又で大げんかしている寅さんと旅先のやさしい寅さんの顔が対照的です。寅さんの恋の原点は「自分を捨てて行った生みの母への意地（別嬪の嫁を連れてくる）」なのだと新発見しました。

1975年（昭和50年）12月公開の第16作「男はつらいよ 葛飾立志編」で西伊豆に登場しています。

寅さんからの毎月仕送りが届くので寅さんを父親と勘違いした女学生 順子（桜田淳子）が山形からとらやを訪れます。順子は寅さんが旅先でお世話になった「おゆき」の娘です。毎月お礼のお金を送っていた人情味ある寅さんには感心します。「おゆき」が無学で男にだまされたと知り「己を知るため」と学問を志す寅さんです。



とらやには考古学を学ぶ美しい礼子（榎山文枝）が下宿して寅さんの家庭教師になります。めがねをかけ、本を抱える寅さんの姿が可愛いです。寅さん、順子は上司の鬚の教授と結婚すると勘違いして柴又を出ます。勘違いと伝えようと寅さんを追いかける妹さくらも間に合わず。

教授も淳子にふられて旅に出て、西伊豆で寅さんと再会します。

「昨年中は後悔と反省の日々」といつもの寅さんの年賀状がとらやに届いて幕。

1985年（昭和60年）12月公開の第36作「男はつらいよ 柴又より愛をこめて」で伊豆の下田を訪れています。

裏の印刷会社のタコ社長の娘あけみが結婚生活に疲れて家出。タコ社長、尋ね人でTV出演、下田にいると連絡あり。そこに寅さんが帰ってきて、一肌脱ぐ寅さんです。下田であけみを見つけ、入田浜（写真右）であけみと話し合い、あけみの希望で東京都式根島へ向かいます。



式根島では美人で独身の真知子先生（栗原小巻）に一目ぼれします。  
結末は失恋の寅さんでした。詳細は東京都の章でお話しします。

スタートから 1533 K m地点に到着したら、次までのコースを紹介します。  
途中経過は「寅さん歩」の中でお知らせします。

今回は 南フランス プロヴァンス散歩ー1 です。

平野 寅次郎 拝